

一般質問 小川 不朽 議員

# 旭ヶ丘公園 安心・安全・快適な利用を願って

町長 検討していきたい



頂上から望む旭ヶ丘総合公園

**問**

- 旭ヶ丘総合公園及び周辺施設や保健保安林は、施設の老朽化や時代のニーズにより、改修や再整備を余儀なくされている。安心・安全・快適を持続させるために来年度は、
- ① スキー場斜面「芝桜」の植栽の整備。
  - ② スキー場斜面「園路」の修復・改修。
  - ③ スキー場「展望広場」の改修。
  - ④ スキー場「ジャンプ台」の撤去。
  - ⑤ 「室内プール」の改修。
  - ⑥ キャンプ場「トイレ」の水洗洋式化。
  - ⑦ 「ピクニック広場」の環境整備。
  - ⑧ 案内サインの充実。
- これらの事業を実施すべきと考えるが。

**町長**

- ① 毎年雑草とのたたかいである。「芝桜」の現状維持に努め、今ある状態をしっかりと管理していきたい。
- ② フロートレイルとの共存利用について実証実験の結果が出ておらず方向性が定まっていない。今後協議していく。ジャンプ台横の木道の「園路」については順次修繕を行っていく。
- ③ 斜面中腹の「展望広場」の劣化が進んでいる。公園全体の整備を考慮しながら、総合的に検討していく。
- ④ 年々危険度が増すことからジャンプ台は撤去する方向で検討しているが、撤去に約1億2000万円を要する。財政的に有利な手法等を模索し取り進めていきたい。
- ⑤ プール施設の経過年数や現状等を考えると、全面改修か建て替えだが、いずれも多額の費用が伴う。教育委員会と十分協議していく。
- ⑥ 公園施設のトイレで最も整備が遅れている。
- ⑦ 繁茂する木々の枝払いを行う等、眺望景観の向上に取り組んできた。施設内の老朽化もあり総合的に検討していきたい。
- ⑧ 案内看板の老朽化が進んでいる。整理・統合して新設を考えている。その他の看板は、公園内全体の中で配置も含め再検討していきたい。

## 羊蹄トンネルの掘削土はどのように運ばれるのか

**問**

トンネル工事の掘削土のうち、無対策土は町有地の花園牧場へ、埋め立ての利活用も兼ねて搬入されている。

4月から開始される羊蹄トンネル工事の掘削土は無対策土か、要対策土か。どこに運ばれるのか。

**町長**

羊蹄トンネル工事は、シールドマシンを利用して、機械先端から薬剤を注入しながら掘削する。その掘削土は、産業廃棄物として取り扱われ、土質改良によって固化し再利用することで、現在、鉄道・運輸機構と北海道と

で手続等の協議を継続している。今後、協議が整い、町と協定を締結した後、花園牧場へ搬入する予定との報告を受けている。なお、基準値を超える重金属等が検出された場合、産業廃棄物として廃棄処理施設にて処分することになっている。

公共下水道区域外のため、浄化槽の設置等が必要で、多額の費用が見込まれる。維持管理を含め検討していく。